第１０５回 相模湖地区まちづくり会議 全体会 結果

■ 日　　時　　令和８年１０月１５日（木）　１９時開会　２０時３０分閉会
■ 場　　所　　相模湖総合事務所 ３階 大会議室
■ 出席委員数　　２２名出席（２名欠席）
■ 傍 聴 者　　０名

１　開　会

２　代表あいさつ

○　鈴木代表からのあいさつの後、代表の進行により議事を進めた。

３　行政説明

・第２次相模原市新道路整備計画の中間見直しに係る市民意見聴取について

○　道路計画課から資料に基づく説明の後、質疑応答を行った。

【結　果】

○　質疑応答での意見の他、アンケートにより「第２次相模原市新道路整備計画の中間見直し」に係る幅広い意見を回答することとなった。

【主な意見等】（◇：主な意見・質問等、◆：回答等）

◇　自転車専用レーン等、自転車の通行環境を充実させていく計画はあるか。

◆　第２次新道路整備計画には自転車関連の項目もあるが、主に「相模原市自転車活用推進計画」において、どこでどのように自転車の区画を設けるかを決め、整備している。

◇　（第２次新道路整備計画では）具体的にどのようなことをするのか。

◆　計画の主な取組みとしては、渋滞が多発している箇所に対して道路拡幅や車線増設を行い、渋滞解消を目指すこと、また、特に子どもが通る場所の歩道整備などの安全対策を進めている。維持管理に関しても別途計画があるので、地域の声をもとに対応していきたい。

◇　国道２０号の整備に関して、市としてできることはあるか。草が伸びている歩道がある。

◆　市としては相武国道事務所と連携して対応している。ご意見をいただければ市から国道事務所へ要望を伝え、改善に努めたい。

◇　桂橋から相模湖大橋に繋がる生活道路が抜け道として使われ、車が非常に多い。道路も陥没するなど状態が悪化しており、このままだと危険が増すと思うが、対策はあるか。

◆　交通集中による道路損傷や安全課題は認識している。抜け道利用の実態調査も含め、適正な交通分散と道路補修や改良等の対応を検討したい。

◇　アンケートについて、今回の整備計画の意見収集の範囲は、道路の新設、拡充に関することが主か。維持管理に関する意見も含めていいのか。

◆　主な目的は整備計画の見直しに対するご意見をいただくことだが、維持管理の課題や現状の声も重要であるため、ご記入いただいて構わない。

４　各部会からの報告

○　産業・観光部会から、次の内容について報告を行った。

・　部会長は松本委員、副部会長は小俣委員と小瀧委員に決定

・　９月１８日に部会を開催し、主にまちづくり会議の具体的目標についての検討を実施

○　子ども・暮らし部会から、次の内容について報告を行った。

・　部会長は山本委員、副部会長は加藤委員と吉良委員に決定

・　１０月１３日に部会を開催し、主にまちづくり会議の具体的目標についての検討を実施

５　協議事項

（１）第９期相模湖地区まちづくり会議の具体的目標について

○　各部会での検討結果を踏まえ、第９期の具体的目標について協議を行った。

【結　果】

○　「１０年以内に年少人口を５０人プラス」を具体的目標とすることとした。

【主な意見】

◇　部会での検討の結果、まちづくり会議として「年少人口」を増やすことを目標として提案する。具体的な数値目標設定について全体会で議論したい。

◇　例えば、年少人口を現在の５．３パーセントから６パーセントに増やすことを目標とすると、約３７０人から４２０人に増えることとなる。

◇　パーセンテージで表すとわかりにくいため、具体的な人数で表現したほうが理解しやすい。

◇　単に子どもの数を増やすのではなく、若い世帯（家族）を増やすことが必要。世帯数目標のほうが現実的で効果的ではないか。

◇　藤野のシュタイナー学園のように子どもが集まる仕組みを作れば大人は来る。バレエを特色とした教育など、相模湖ならではの施策を考える必要がある。

◇　ファミリー層をターゲットとした移住等の施策も必要である。

◇　目標は大まかにしておき、各部会で現実的な施策や数値に落とし込んでいけばよい。

◇　小学校の統合問題等も念頭に置きつつ、子育て世代の流入促進に注力していくべき。

◇　年少人口を現状から５０人増やすとして、１、２年で達成できる目標ではない。５年または１０年など、期間はどのように設定するか。

◇　まちづくり会議の委員は１期２年の任期であるため、例えば５期分の１０年を目途としてはどうか。

◇　皆、「子どもを増やしたい」という思いは一緒である。重要なことは、各部会で今後何ができるかを考えていくことである。

（２）令和８年度地区まちづくりを考える懇談会について

○　事務局から資料２に基づく説明を行い、懇談会までの進め方を全体で共有した。また、次回の全体会に向け、各部会において懇談会のテーマ等を検討することとした。

６　その他

○　和田委員から、「相模湖地域ケア会議地域づくり部会」及び「湖カフェ」の取組について情報提供があった。

○　竹内副代表から、出席した区民会議に関する報告があった。「自治会活動の推進に係る条例」について意見交換を行ったとのこと。また、当該条例に関し、森久保委員から補足説明があった。

○　事務局から、次の内容について報告があった。

・　公募委員の募集状況について

・　第８期まちづくり会議子ども・若もの専門部会の要望書の提出について

・　駅及び湖畔周辺の案内サインの更新について

○　岩間委員から、高速バスの停留所に関して情報提供があった。相模湖駅から停留所までの案内が十分ではなく、迷っている人が多いとのこと。

７　閉　会

＊　専門部会について

○　全体会終了後、「産業・観光部会」及び「子ども・暮らし部会」を開催した。

以　上

第１０５回 相模湖地区まちづくり会議全体会 次第

日　時　：　令和８年１０月１５日（木）
　　１９時００分～
場　所　：　相模湖総合事務所３階 大会議室

１　開　会

２　代表あいさつ

３　行政説明
・第２次相模原市新道路整備計画の中間見直しに係る市民意見聴取について

４　各部会からの報告について
（１）産業・観光部会

（２）子ども・暮らし部会

５　協議事項
（１）第９期相模湖地区まちづくり会議の具体的目標について　…資料１

（２）令和８年度地区まちづくりを考える懇談会について　…資料２

６　その他

７　閉　会

□ 次回役員会
・日 時 ： 令和８年１１月１１日（水）・１９時から
・場 所 ： 相模湖総合事務所３Ａ会議室
□ 次回全体会
・日 時 ： 令和８年１１月１９日（木）・１９時から
・場 所 ： 相模湖総合事務所３階大会議室

第９期 相模湖地区まちづくり会議委員名簿

敬称略

番号	役職	専門部会	所属団体等		氏名
1	代表	－	教育・スポーツ・文化関係関係	相模湖地区公民館運営協議会	鈴木　克枝
2	副代表	子ども・暮らし部会	公募委員	－	川村　千穂子
3	副代表	産業・観光部会	公募委員	－	竹内　僚
4	理事	産業・観光部会	地域活性化事業交付金交付団体	さがみ湖地域連絡会	小俣　哲夫
5	理事	子ども・暮らし部会	教育・スポーツ・文化関係関係	相模湖地区小学校ＰＴＡ「桂北小学校」	加藤　千晶
6	理事	子ども・暮らし部会	地域活性化事業交付金交付団体	さがみ湖コンシェルジュ	吉良　奈美乃
7	理事	産業・観光部会	公募委員	－	小瀧　俊
8	理事	産業・観光部会	公募委員	－	松本　瑞木
9	理事	子ども・暮らし部会	教育・スポーツ・文化関係関係	相模湖地区小学校ＰＴＡ「北相中学校」	山本　信宏
10		産業・観光部会	自治会関係	相模湖地区自治会連合会	森久保　高弘
11		子ども・暮らし部会		相模湖地区自治会連合会	岸　義之
12		産業・観光部会	保健・福祉関係団体	相模湖地区民生委員児童委員協議会	原田　勲
13		産業・観光部会		相模湖地区社会福祉協議会	岩間　肇
14		産業・観光部会		相模湖地域包括支援センター	和田　理江
15		産業・観光部会	産業・経済関係団体	相模湖商工会（女性部）	橋本　久美子
16		産業・観光部会		相模湖商工会（事務局）	山口　進司
17		産業・観光部会		一般社団法人 相模湖観光協会	佐藤　和仁
18		産業・観光部会		与瀬商栄会	岸野　和広
19		産業・観光部会	教育・スポーツ・文化関係関係	相模湖芸術・文化のまちづくり実行委員会	小笠原　豊
20		子ども・暮らし部会		相模湖地区小学校ＰＴＡ「千木良小学校」	田嶋　杏里
21		子ども・暮らし部会		相模湖地区小学校ＰＴＡ「内郷小学校」	及川　裕子
22		子ども・暮らし部会		相模湖地区小学校ＰＴＡ「内郷中学校」	川上　はぎ乃
23		子ども・暮らし部会	安全・安心関係団体	緑区安全・安心まちづくり協議会相模湖支部	小川　達雄
24		子ども・暮らし部会		相模原市消防団　相模湖方面隊	塚本　勇

資料１

戻ってこよう！さがみ湖

～相模湖を終わらせない。みんなで仕掛けるまちづくり～

“こよう"部会を通じて、人々が戻ってこようと思う地域に仕上げ、
ひとりひとりがそれぞれの舞台で活躍できる”個躍(こよう)“さがみ湖を実現していく。

情報発信・共有有志グループ

#ただ今、さがみ湖

将来の「ただいま」の声を増やすために、さがみ湖の今を知ってもらう。

部会は「作戦会議の場」

2部会4テーマにそって施策を練り、行政、各種団体と協力して、目標達成を目指す



具体的目標

☞

産業・観光部会

① 雇用 (産業・仕事)



地域資源の発見 など

どうしたら相模湖地域で仕事をする人が増えるだろうか？

さがみ湖に新たな雇用と所得を生み出す

② 湖用 (観光・魅力)



観光資源の有効活用策 など

どうしたら相模湖がもっと魅力的になるだろうか？

さがみ湖の資源を活用した魅力あるまち

子ども・暮らし部会

③ 子養 (子育て・学校)



子どもたちの居場所 など

どうしたら子育てに最高な地域になるだろうか？

少子高齢化＆人口減少を止める

④ 来よう (移住・Uターン)



移住定住促進策 など

どうしたら相模湖に住みたいと思ってもらえるだろうか？

自然と暮らし
子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくり

まちづくりを考える懇談会（R9.2.23）までの 進め方

資料２

○ 手 順

① テーマ検討 ▶ ② テーマ決定 テーマシート提出 ▶ ③ 当日の進め方調整 ▶ ④ 次第・資料等提出 ▶ ⑤ 懇談会当日準備

＊1/14 まで　　＊2/9 まで

【テーマの考え方】
- 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの
- **今後、地区で取り組んでいく必要があるもの**

【参考】直近の開催状況・テーマ　（＊R7は未実施）
R６：中学生が考える相模湖地区の未来像について
R５：中山間地域の人口減少に対応した住みよい環境づくりについて（相模湖地区の交通機関の在り方）
R４：①地域の実情に見合った子育て支援策について
②相模湖の観光資源について

○ スケジュール

10月８・15日 ▶ 10月役員会･全体会　：　懇談会までの進め方共有

部会での検討

11月11・19日 ▶ 11月臨時役員会･全体会　：　テーマの検討

部会での検討

12月10・17日 ▶ **12月役員会･全体会　：　テーマ決定**

【～1/14】　テーマシート提出

1 月14・21日 ▶ 1月臨時役員会･全体会　：　懇談会当日の進め方について確認

＊２月１日 ▶ 地域情報誌による周知

【～ 2/9】　次第・資料等提出

２月23日(火・祝)　まちづくりを考える懇談会　当日

資料2 別紙①

○○地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」テーマ

■地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(二つ以内)。

□①　現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

□②　今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

■テーマの概要・内容

テーマ	
概　要	
担当部署	

■上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	

■地域トピックス（既存の関連資料等がある場合にはご恵与ください。）

地区の課題（テーマ以外にある場合)、アピールしたい点、工夫している点、良いところ、現在取り組んでいる活動など、市長があいさつで触れるべきこと、または触れてもらいたいこと。

記載例

○○地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」テーマ

■地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(二つ以内)。
■①　現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
□②　今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

■テーマの概要・内容

テーマ	子どもたちの居場所づくりについて
概　要	当○○地区は、子どもたちの遊び場となるような公共施設が少なく、居場所づくりが課題であるが、住宅地の周辺には自然が豊富にあることから、子どもたちが健やかに成長していくための地域資源に恵まれていると考えている。 子どもたちが健やかに成長していくためには、様々な体験を通して豊かな心を養っていくことが重要であり、当○○地区では、子どもたちの居場所づくりのための取組を実施しているが、自然を生かした取組については、まだ行えていない現状がある。 現在、当地区で実施している取組についてご説明するとともに、自然を生かした居場所づくりについて、市と地域が協働して行うことができる取組について懇談したい。
担当部署	○○課、○○課

■上記テーマに関する地区の取組状況等

取組状況	・当○○地区では、子どもたちの居場所づくりの活動として、平日の空き時間を利用して、自治会館及びその敷地内を子どもたちの遊び場として開放し、地域の住民が交代で見守り役を担っている。 ・○○公民館を会場として、２か月に１回、こども食堂を開催している。徐々に参加人数が増えてきており、次年度からは毎月開催したいと考えている。 ・子どもたちが地域の資源である自然に触れ、体験することで、健やかに成長していくための環境づくりについてはまだ十分ではなく、貴重な地域資源が生かされていないと感じている。

■地域トピックス（既存の関連資料等がある場合にはご提供ください。）

地区の課題（テーマ以外にある場合)、アピールしたい点、工夫している点、良いところ、現在取り組んでいる活動など、市長があいさつで触れるべきこと、または触れてもらいたいこと。

資料２ 別紙②

令和８年度　地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」全体の進行

（司会進行：まちづくり会議副会長等）

■開会

１　懇談会開会の宣言（まちづくり会議副会長等）

２　出席者の紹介

３　まちづくり会議会長あいさつ

４　市長あいさつ

■懇談開始

※懇談の視点：「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何かという視点から「対話」による懇談を進める

５　テーマの概要及び地域での取組状況等の説明

（まちづくり会議から、パワーポイント、資料等を用いての説明も可）：５分程度

６　テーマに関連する区や市の取組み等について説明

（区長・局長・部長）：５分程度

７　テーマについて懇談：４０分程度

・一通り懇談が終わったら、進行役のまちづくり会議代表より、地区でできること、市がやるべきこと、協働の視点など、まとめを含めあいさつを行う。

（全体の感想、今後の地域の取組の方向など、懇談会のまとめを行う。）

■懇談終了

８　市長感想（全体の感想、地域への支援、今後の市の取組みの方向など）

９　懇談会閉会の宣言（まちづくり会議副会長等）

第2回相模湖地域ケア会議地域づくり部会報告

◇日 時　令和8年7月28日(火)午後1時30分～午後3時15分
◇場 所　相模湖総合事務所 3階 3A会議室
◇出席者 別紙名簿参照(委員出席6名・事務局等6名)
◇内 容

1. 開会
・ 市社協緑区事務所 田代CSWマネージャーの紹介

2. あいさつ(石井部会長)
・ やまゆり園追悼式に参加した。事件から10年の節目であった。
・ さがみ湖ケアガーデンの新規サービスで定期巡回を行っている事業所より、人材不足で利用者への対応が難しい状況と伺った。

3. 議題
(1)前回の振り返り
今年度の取組について事務局より説明。

(2)認知症理解普及啓発の取組みについて
・ 寸劇を用いて認知症の普及啓発活動をしている青森県のボランティア団体「じゅんちゃん一座」が相模湖公民館にお越しになった。参加者は50名を超えた。好評であった。相模湖内でも認知症普及啓発のための寸劇ができないかという声もあった。引き続き湖カフェも開催しながら、啓発の取組を検討していきたい。
・ 地域住民から見て、周りの方々が認知症の捉え方や認識が変わっていっているか。皆さんの目線から聞きたい。

<u>意見交換(○委員 ●事務局等)</u>
○ 「この世帯には認知症の方がいる」というような情報は、行政から把握できないのか。
● 認知症の方がいる世帯を把握する手段がない。それは行政も包括も同様である。
● 誰にも相談できない状態でいることや、孤立してしまう等の状況を防ぐためにも、地域の方から相談へ行くよう促してもらえると対応につながりやすい。
○ 地域の集いの場に来て対象者を把握することはできるのか。
● サロンや湖カフェで把握したり、相談を促すことはできる。
● 行政は介護保険のデータはあるが、職員が本人の同意なしに情報を見ることはできない。相談を受けて初めて世帯の把握ができる。

○ 集いの場に参加した際、仲間同士で「あの人最近様子が変だな」ということも話題になる。関係機関が集いの場に足を運ぶ機会があると良い。
○ 認知症であることを周りに知られたくないという方が多いのではないか。そのため、家族が抱え込む。対象者の状況を把握できない原因の一つだと思う。改善できないか。
○ 相模湖地区は隣近所で関わりがある方が多い。周りが気づいてくれる。
● 近所の方から包括に相談に来ることは多い。相談を受けて必ず訪問をしているが、介護保険の申請を拒否されてしまうと介入する部分が難しい。人の世話になりたくないという気持ちの人もいる。また、個人情報の視点から、対象者の情報を伝えることができない場合があるが、ご理解いただきたい。
○ 一人で抱え込まず、包括に相談してほしいという発信を広く周知した方が良いのではないか。
● 普及啓発には取り組んでいるが、人に知られたくない、相談したくないという価値観を簡単に変えるのは難しい。支援者も対象者の価値観や想いは理解していきたい。
○ 地域住民が包括の存在や、行政サービスを知らないことも原因だと思う。周知が必要。サロンや百歳体操などの集いの場に参加する人は情報を入手しやすいが、地域の集まりに参加しない人への周知が難しい。
● 自治会未加入の方は、地域情報誌の存在を知らない方が多い。包括の存在を知ってもらう機会をどのようにつくるのが良いか。
○ 相模湖地区の自治会加入は 50%程度。また、地域情報誌は回覧であるため、確認する人が少ない。そのため、各戸配布が必要に思う。また、民生委員等とも協力して自治会未加入者へも周知できると良い。
○ 相談の導入は、包括や民生委員がルートになる。しかし連絡先がわからないという場合もあると思う。相談したいときに連絡先が分かる状況が良い。ちょこボラでは、連絡先を書いたシールやマグネットを冷蔵庫等に貼れるようにし、身近に感じてもらう工夫をしようとしている。包括の周知は地域ケア会議の活動費を活用し、マグネット等を作成できないか。
● 地域包括ケア推進課に確認が必要。事務局で確認をする。
○ どのような機関に相談したらよいかを地域の中で理解している人がつなげてあげるのが良い。包括だけでは救いきれない。地域で声を掛け合えれば良いのだと思う。周知するシールやマグネットも必要。加えて地域でつないであげることも必要。
● つながった相談は必ず対応している。地域で自助活動としてつなぎ合っていただけると課題が複雑になる前に包括で対応できることがある。気にかかる人がいれば相談してほしい。
● 8 月に湖カフェで認知症 AR 体験を実施する。啓発に取り組みたい。また、認知症の検査をしてほしいという相談も多い。認知症の診断は脳外科、脳神経

外科等になる。つばさクリニックと連携して「認知症になったら」という普及チラシを作成できないか相談している。課題が大きくなる前に包括が相談に乗れたら良いと考えている。

○ 見える化していくことは大切。相談先等を載せた啓発チラシを自治会とも連携して配布してはどうか。

○ まずは地域づくり部会だよりで載せていくことを提案したい。

● 作成時に対応する。

(3)交流会について

資料2に基づき、事務局より説明。

意見交換(○委員 ●事務局等)

○ 参加者への周知の期間を考えると9月開催は早い。

○ 与瀬、千木良、内郷のバランスについては、あまり考慮しなくて良いのでは。初めて開催するので規模を広げすぎない方が良い。

○ 9月はイベントが多いので、避けた方が良い。

○ 9月で各団体へ周知が可能なのか。

● MSW 側の都合もあり、9月が候補となった。病院で感染症の影響があると調整できない可能性はある。感染症が流行る前に実施したい。9月～10月のイベントが多い期間を避けると11月以降となるか。各団体の都合に合わせたい。

○ 10月に自治会長会議はあるが、自治会役員に負担がかかるのは避けたい。役員にこだわらず、与瀬地区、千木良地区、内郷地区で各5名選出してもらう形にし、5名は目標であることを伝えれば良いのではないか。

○ 規模は各団体5名でどうか。

○ 老人クラブは3団体しかないので、3名選出で良いのではないか。

● タイムテーブルを確認したい。

○ 開催時間は1時間45分が限度かと思う。それ以上は集中が続かない。

● グループワークの時間を40分で検討する。

○ 地域での困りごとに焦点を当てると、ネガティブなイメージで話し合いが進んでしまう恐れがある。

● 資料2で補足しているが、地域の良いところを再認識してもらいながら、それでも困っていることに対して地域や関係機関でできることを考える形でどうか。

● 実施候補日は11月19日(木)か11月30日(月)で調整する。西山MSWへの日程を確認して決定とする。感染症の対応で会場に来られない場合は、オンラインでの講話を検討する。

4. 報告事項

(1)ちょこボラ相模湖実施報告

資料3に基づき、事務局より説明。

- その他の具体的な依頼内容は、カーテンの取り付け、窓ふき、絨毯を干してほしいなど、ちょこボラのチラシには書かれていない依頼が増えている。
- 依頼減少の原因が周知不足なのであれば、方法を工夫したい。

5. その他

(1)次回のスケジュールについて

- 交流会の前に地域づくり部会を実施する。10月26日(月)あるいは10月28日(水)を候補とした。千木良公民館の空き状況を事務局で確認する。
- 10月に自治会長会議を実施するか不明確であるため、3地区の自治会連合会長に交流会の説明をし、参加を促すこととした。まちづくりセンターに相談し、説明の調整を事務局で行うこととした。

6. 閉会

大神田副部会長よりあいさつ。

以上

令和8年度 相模湖地区 地域交流会のご参加者募集のお知らせ

相模湖地区地域づくり部会では、地域の皆さまがいつまでも安心して住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地域のつながりや支え合いについて一緒に考える「地域交流会」を開催いたします。

日頃から感じている地域での困りごとや、「こんな支え合いがあったらいいな」といった思いを、皆さまで気軽にお話ししてみませんか？地域の活動について知る良い機会ですので、ぜひお気軽にご参加ください。

■ 開催概要

日時：令和8年11月19日（木） 14:00〜15:45（受付開始 13:45〜）

場所：相模湖総合事務所 3階 大会議室

内容：1. 講話「自助・共助について」
講師：相模原赤十字病院 ソーシャルワーカー 西山 氏
2. グループワーク
参加者の皆さまで、地域の課題やこれからの暮らしについて気軽に意見交換を行います。

対象：相模湖地区にお住まい・または活動されている一般市民の皆さま

■ 地域づくり部会とは？

高齢者の方をはじめ、誰もが安心して自分らしく暮らし続けられるよう、地域にある生活の課題について話し合い、みんなで解決方法を考える集まりです。

■ お申し込み・お問い合わせ

申込締切：令和8年10月20日（火）まで

お申し込み方法：参加をご希望の方は、下記のお問い合わせ先（事務局）までご連絡ください。

お問い合わせ先：相模湖地域づくり部会 事務局（相模湖地域包括支援センター）
担当：和田、斎藤、仁科
TEL：042-684-9065

企画・運営：湖カフェ実行委員会　協力：相模原市

湖cafe

ファッションセンター しまむら

地域がつながる相模湖のコミュニティカフェ





湖カフェ（コカフェ）ってなに？

性別、年齢、病気の有無などに関わらず、
誰でも楽しく交流ができる場所を作りたいと、
令和6年9月から始まった取り組みです。

どなたでもお気軽にご参加ください♪

10月は「ファッションセンターしまむら」さんとコラボ！
寒い冬に備えて、衣類等のお買い物を楽しみましょう♪

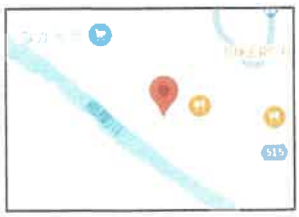
参加費　**無料**　※ 衣類などの購入には、商品の代金が必要です。
現金・クレジットカード・PayPay決済等でのお支払いが可能です。

日時　2026年 10月 29日（木曜日）
午後1:30 ～ 午後3:00

会場　津久井やまゆり園
（所在地： 相模原市緑区千木良476）

送迎車　相模湖地区在住の方に限り、送迎車がご利用頂けます。
利用には事前のお申込みが必要です。（10/15〆切）

アクセス　神奈中バス停
「津久井やまゆり園前」下車、徒歩すぐ



駐車場　公共の交通機関もしくは上記の送迎車が利用できます。
駐車場はありません。ご協力をお願いします。

参加申し込み・問い合わせはコチラへ

相模湖地域包括支援センター
☎ 042-684-9065

ボランティアさん募集

湖カフェにご協力いただける
ボランティアさんを募集して
います。楽しく、無理なく、
ご支援をお願いします！

駅前から湖畔への案内サインの更新案について【R8.10.15現在】

相模湖まちづくりセンター

既存の案内導線

緑区
与瀬本町

追加する
案内導線

現行の案内サイン



新しい案内サインの表示イメージ

相模湖公園
Lake Sagami Park
ボートのりば
Boat Platform
２００m

相模湖公園
Lake Sagami Park
ボートのりば
Boat Platform
５０m

６００m
相模湖駅
Sagamiko Station

※案内サインの色、サイズ、表示内容等は今後決定します。

案内サイン塔の更新案について【R8.10.15現在】

【新規設置】
○既存の案内サイン塔の付近に懸垂幕塔（１面又は２面）を設置する。
○駅改札口からの導線で目に付く位置・角度に設置
○右の画像はイメージ（ウェルネスさがみはら）









【更新内容】
○柱部分は、洗浄等を行う。
○サイン部分は、既存の板を活かし、表示内容を更新する。

